

沖縄におけるMV-22オスプレイの不時着水について

平成28年12月14日付広資料第152号でお知らせしたことについて、防衛省北関東防衛局より別紙1のとおり続報を加えた情報提供がありましたので、お知らせします。

なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、沖縄におけるMV-22オスプレイの不時着水について、下記のとおり要請を行いましたので、お知らせします。

記

○ 要請内容

1 要請日

平成28年12月15日（木）

2 要請先

外務大臣

防衛大臣

北関東防衛局長

3 要請内容

別紙2、別紙3及び別紙4のとおり

4 要請者

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

(会長：東京都知事、副会長：瑞穂町長)

平成28年12月15日
防衛省

MV-22オスプレイの不時着水事案について

1. 事案概要

- (1) 平成28年12月13日（火）21時30分頃、沖縄県名護市東海岸の約1km沖合で米海兵隊普天間基地所属のMV-22オスプレイ1機が不時着水。
- (2) 事故原因は米軍において調査中。
- (3) 搭乗員5名は無事（うち2人は怪我しているものの意識ははっきりしている）。

2. 事故当時の状況（在日米軍司令部及び在沖米海兵隊からの情報）

- (1) 不時着水したMV-22オスプレイは、沖縄東方の海上（約30km沖合）で、米空中給油機KC-130からの空中給油訓練を実施中、プロペラが給油ホースを切断したことにより、プロペラのブレード（羽）が損傷し飛行が不安定になった。
- (2) パイロットの判断により、訓練地点から距離が近いキャンプ・シュワブを目的地として飛行する中で、地元への影響を極小化するため海岸沿いを飛行していたが、途中、辿り着けないと分かったため、パイロットが意図した地点である浅瀬に着水した。
- (3) 事故の原因が機体そのものの問題である可能性は極めて低い。
- (4) MV-22オスプレイについては、安全が確認されるまで飛行を一時停止している。

3. 事案への対応

(1) 防衛省・自衛隊の対応

- ① 活動部隊 空自那覇救難隊（那覇）
- ② 活動規模 航空機 2機
- ③ 主な対応状況

【12月13日（火）】

22時28分 防衛大臣指示

- ① 情報収集を徹底し、状況の把握に努めること。
- ② 人命救助に万全を期すこと。
- ③ 地元への説明など、対応を確実にすること。

23時05分 那覇救難隊のU-125×1機が捜索活動のため基地を離陸。

23時17分 那覇救難隊のUH-60×1機が捜索活動のため基地を離陸。

※要救助者は米軍機により収容。

【12月14日（水）】

0時頃～1時頃 沖縄防衛局長がコンウェイ在沖米海兵隊政務外交部長に面談し、事故に係る原因究明・情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止について申し入れ。

2時20分～50分 防衛大臣がマルチネス在日米軍司令官へ電話し、事故に係る原因究明・情報提供、安全が確認されるまでの飛行停止について申し入れ。

10時20分～40分 沖縄防衛局長がニコルソン在日米軍沖縄地域調整官と面談。

10時42分～11時23分 防衛大臣がマルチネス在日米軍司令官と電話会談

（米側に「2」の情報を確認）。

【12月15日（木）～16日（金）】

今般の事案を踏まえ、若宮防衛副大臣及び滝沢外務大臣政務官が沖縄県副知事、関係自治体の首長等と面談するため訪沖予定。

（2）米軍の対応

【12月14日（水）15時～】

◎ニコルソン在日米軍沖縄地域調整官が記者会見し、事故原因等について説明
※事故状況以外の主な発言は以下のとおり。

- ・ パイロットがとった咄嗟の判断により、県民や搭乗員を含む多くの人命が救われた。
- ・ 海上保安庁や沖縄県警による支援に大変感謝。
- ・ 本件が起きたことは遺憾であり大変残念。遺憾という言葉に謝罪も含まれている。

4. 関係自治体への対応

（1）12月13日（火）の深夜から14日（水）の未明にかけて、事案発生の第1報について、沖縄県内の25関係自治体等に電話及びFAXで情報提供

※沖縄県、沖縄市、嘉手納町、北谷町、読谷村、うるま市、宜野湾市、浦添市、那覇市、北中城村、名護市、東村、国頭村、本部町、伊江村、宜野座村、恩納村、金武町、久米島町、渡名喜村、北大東村

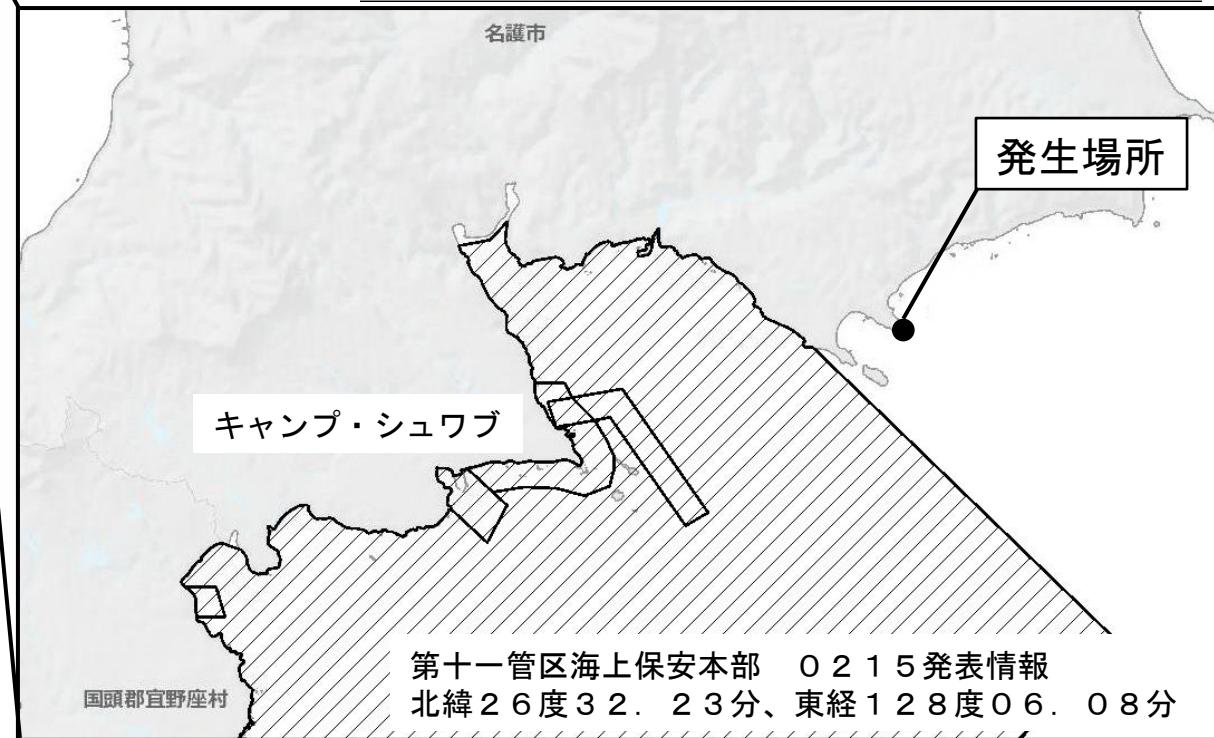
（2）また、本土関係自治体についても、オスプレイが飛来する際に情報提供を行っている約160関係自治体等に電話及びFAX等で情報提供

→ 関係自治体からは、事故原因の究明、安全の確保ができるまでの飛行停止等について要望あり。

5. その他米軍情報

12月13日（火）、普天間飛行場において、別のMV-22オスプレイが着陸時に着陸装置（脚部）に不具合が生じる事案が発生したが、これは、通常の安全な着陸だった。なお、本オスプレイは、不時着水したMV-22オスプレイとは関係ない。

MV-22オスプレイ不時着水事案位置図





沖縄県名護市沖合でのMV-22オスプレイの不時着水について（要請）

平成28年12月13日に沖縄県名護市東海岸から約1km沖合で、米軍機MV-22オスプレイ1機が不時着水しました。

今般の事故は、横田基地へのCV-22オスプレイの配備計画が発表されている中での事故であり、周辺住民のオスプレイに対する安全性への懸念は大きくなっています。

このため、当協議会は、当該事故の原因究明と再発防止策について、米軍に申し入れるよう要請するとともに、客観的事実に基づき東京都及び横田基地周辺市町に対し、事故に関する迅速かつ正確な情報提供を丁寧に行うよう要請します。

また、事故に係る原因究明により、安全性が確認されるまで、MV-22オスプレイの飛行を行わないことを米軍に申し入れるよう要請します。

平成28年12月15日

外務大臣 岸田文雄 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長 東京都知事	小池百合子
副会長 瑞穂町長	石塚幸右衛門
立川市長	清水庄平
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武藏村山市長	藤野勝
羽村市長	並木心





沖縄県名護市沖合でのMV-22オスプレイの不時着水について（要請）

平成28年12月13日に沖縄県名護市東海岸から約1km沖合で、米軍機MV-22オスプレイ1機が不時着水しました。

今般の事故は、横田基地へのCV-22オスプレイの配備計画が発表されている中での事故であり、周辺住民のオスプレイに対する安全性への懸念は大きくなっています。

このため、当協議会は、当該事故の原因究明と再発防止策について、米軍に申し入れるよう要請するとともに、客観的事実に基づき東京都及び横田基地周辺市町に対し、事故に関する迅速かつ正確な情報提供を丁寧に行うよう要請します。

また、事故に係る原因究明により、安全性が確認されるまで、MV-22オスプレイの飛行を行わないことを米軍に申し入れるよう要請します。

平成28年12月15日

防衛大臣 稲田朋美 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長 東京都知事	小池百合子
副会長 瑞穂町長	石塚幸右衛門
立川市長	清水庄平
昭島市長	白井伸介
福生市長	加藤育男
武藏村山市長	藤野勝
羽村市長	並木心





沖縄県名護市沖合でのMV-22オスプレイの不時着水について（要請）

平成28年12月13日に沖縄県名護市東海岸から約1km沖合で、米軍機MV-22オスプレイ1機が不時着水しました。

今般の事故は、横田基地へのCV-22オスプレイの配備計画が発表されている中での事故であり、周辺住民のオスプレイに対する安全性への懸念は大きくなっています。

このため、当協議会は、当該事故の原因究明と再発防止策について、米軍に申し入れるよう要請するとともに、客観的事実に基づき東京都及び横田基地周辺市町に対し、事故に関する迅速かつ正確な情報提供を丁寧に行うよう要請します。

また、事故に係る原因究明により、安全性が確認されるまで、MV-22オスプレイの飛行を行わないことを米軍に申し入れるよう要請します。

平成28年12月15日

北関東防衛局長 平井 啓友 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会長 東京都知事

小池 百合子

副会長 瑞穂町長

石塚 幸右衛門

立川市長

清水 庄平

昭島市長

白井 伸介

福生市長

加藤 育男

武藏村山市長

藤野 勝

羽村市長

並木 心

